

令和2年7月 報道機関との定例懇談会 要旨

□ 情報提供項目

久慈市の新型コロナウイルス感染の対応状況や支援策、発熱外来の設置などについて市長から報道機関にお知らせしました。

□ 記者との質疑応答

記者：発熱外来は7月末頃に開設になるか。

市：今後、ドライブスルー方式によりリハーサルを行うので、その結果をもって開設することになる。

補正予算案に約1千万円を計上しているが、予算が成立後、テントなどの備品を購入してから、設営をすることになる。

記者：PCR検査の検査料は。

市：PCR検査には本人負担はないが、初診料がかかる。

記者：PCR検査は検体採取までか。どのように検査を行うか。

市：検体採取までして、民間の検査機関に検体を送り、判定してもらう。ドライブスルー方式であり、鼻の奥の粘液を綿棒でとる。

記者：検体を送る民間機関は関東にあるか。結果はどれくらいでわかるか。

市：首都圏にある民間機関に送る。結果がわかるまでに2～3日かかる。

記者：検査結果は県の公表に合わせて行うか。

市：検査結果は保健所に報告する。市で独自に報告ではない。

記者：設置は久慈市となっているが、運営はどちらが行うか。

市：基本的な運営は久慈市で行うが、業務は久慈医師会に委託をする。

記者：民間の検査機関は土曜、日曜も行っているか。

市：土曜、日曜も行っており、2～3日で結果がわかると伺っている。

記者：補正予算案には修学旅行キャンセル料補助金が計上されているが、修学旅行が中止となった学校はあるか。

市：現在、中止となった学校は伺っていない。今後中止となった学校への支援策である。

記者：国の臨時交付金を活用した2回目の補正予算案となるが、支援策の考え方について伺いたい。

市：第一次の臨時交付金により支援策を行う中で、中々に手当てが行き届かない部分や第一次産業が収入減となっていることを伺った。そのような分野に支援策を講

じたところである。財源をできるだけ有効に活用し支援策を講じたい。まだ若干財源があるので、次の手当ても検討している。

記者：交通事業者は特に影響が大きいと考えているか。

市：交通事業者は、コロナ収束後の観光を考え、第二次補正においても支援策を講じることとした。

記者：第一次、第二次臨時交付金の久慈市への配分額は。

市：第一次は 170,557 千円、第二次は 552,637 千円である。

記者：九州で大雨災害に見舞われているが、久慈市として支援する予定があるか。

市：現在の所は考えていない。台風 19 号災害復旧工事も終わっていないため、人的派遣も難しい。自治体から具体的な要請があれば、物的支援は速やかに対応したい。市長会など関係団体で支援の取りまとめがあれば協力したい。

記者：プレミアム付飲食券などはいつ頃、発行になるか。

市：商工会議所に事務を委託予定であり、補正予算案が決定後、速やかに発行業務ができるよう進めてまいりたい。